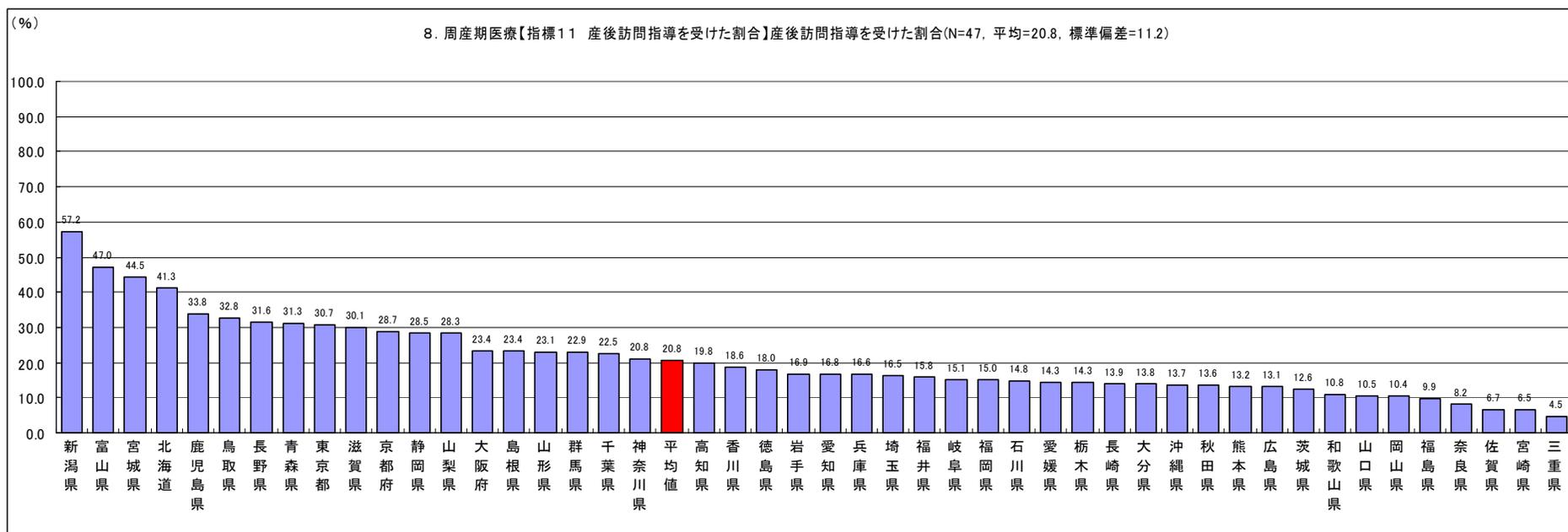
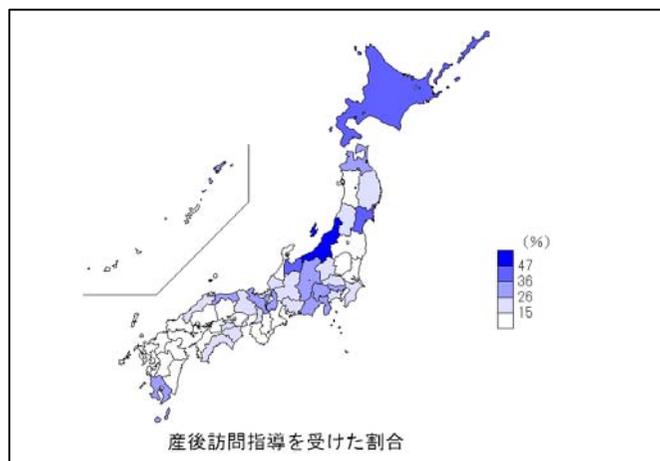


・ 周産期医療- 1 1 産後訪問指導を受けた割合



153



- ・ 「産後安心して過ごせるか」を把握するための指標として用いています。
- ・ 新潟県が最も高く、三重県が最も低い結果です。平均値は20.8、標準偏差は11.2です。
- ・ 地域的な傾向は見られませんが、新潟県、富山県、宮城県、北海道の4県は割合が非常に高くなっています。

(3)「指標」の定義および算出方法

指標 1 : 出生率

◆ 定義

都道府県別出生率

出生率とは一定期間の出生数の人口に対する割合であり、人口 1,000 人当たりの年間の出生児数の割合で定義されます。

◆ データの出典

| データ | 調査名 | 年次 | 集計表 | 備考 |
|-----|--------|----------|---|----|
| 出生率 | 人口動態調査 | 平成 16 年度 | 1 B 上巻 出生 第 4 . 4 表 都道府県別にみた年次別出生率 (人口千対) | |

指標 2 : 新生児死亡率

◆ 定義

$(1 \text{ 年間の生後 28 日未満の死亡数} / 1 \text{ 年間の出生数}) \times 1,000$

新生児死亡率とは、生後 4 週未満の乳児死亡の出生 1,000 人あたりの割合として定義されます。

◆ データの出典

| データ | 調査名 | 年次 | 集計表 | 備考 |
|-----|--------|----------|--|----|
| 死亡数 | 人口動態調査 | 平成 16 年度 | 2D 中巻 乳児死亡 第 2 表 乳児 (1 歳未満) 死亡数, 性・生存期間・市部一郡部 (全国)・都道府県 (14 大都市再掲) 別 | |
| 出生数 | 人口動態調査 | 平成 16 年度 | 1 B 上巻 出生 第 4 . 3 表 都道府県別にみた年次別出生数 | |

指標 3 : 合計特殊出生率

◆ 定義

合計特殊出生率

人口動態統計における都道府県別合計特殊出生率（ $\Sigma_{(15\text{歳}\sim 49\text{歳})}$ （母の年齢階級別出生数／年齢階級別女子人口））とします。

◆ データの出典

| データ | 調査名 | 年次 | 集計表 | 備考 |
|---------|--------|----------|--|----|
| 合計特殊出生率 | 人口動態調査 | 平成 16 年度 | 1B 上巻 出生 第 4.5 表 都道府県別にみた年次別合計特殊出生率 | |

指標 4 : 十代の人工妊娠中絶実施率

◆ 定義

人工妊娠中絶実施率

衛生行政報告例における年齢階級別人工妊娠中絶実施率を用います。人工妊娠中絶件数は 15 歳以上 50 歳未満の女子総人口千対の率として示されていますので、このうち、20 歳未満（15 歳～19 歳）の値とします。

◆ データの出典

| データ | 調査名 | 年次 | 集計表 | 備考 |
|---------|---------|----------|-----------------------------|--------------------|
| 人工妊娠中絶率 | 衛生行政報告例 | 平成 16 年度 | 第 64 表 人工妊娠中絶実施率、年齢階級・都道府県別 | 20 歳未満として掲載されています。 |

指標 5 : 低出生体重児出生率

◆ 定義

低出生体重児（2,500 g 未満）出生数／全出生数

人口動態統計における低出生体重児出生率の値を用います。低体重出生児とは体重 2,500 g 未満の新生児を指します。